



人的ネットワークによる防災まちづくりを提案

# 防災塾・だるま

Risk Management with Soft & Hard Measures on Natural Disaster.

URL: <http://darumajin.sakura.ne.jp>

## 「防災塾・だるま」2024年度 第16回 通常総会 議案書

◆日時 : 2024年 5月 24日 (金) 13時 30分～16時 45分

通常総会 13:30～14:30

基調講演 15:00～16:45

◆会場等 : かながわ県民サポートセンター11階 講義室2及びオンライン方式との併用開催

〈議事次第〉 (総合司会 山田美智子 副塾長)

1. 開会の挨拶 塾長 鷺山龍太郎

2. 報告 (出席者確認 田中喜世美 理事)

・会員状況について・・・2024年 3月 31日現在:正会員 102名

・規約第8条2項の規定により、議決は正会員出席者(リモート含む)の過半数をもって決する。

3. 議長及び書記の選出 (議長:樋口 書記:田中 晃)

4. 議事

第1号議案:2023年度活動報告・・・担当 山田美智子 副塾長

第2号議案:2023年度決算報告及び会計監査・・・担当 早川 雅子 理事

高橋 徳美 監査

江上富美子 監査

第3号議案:2024年度活動計画(案)・・・担当 鷺山龍太郎 塾長

第4号議案:2024年度収支予算(案)・・・担当 早川 雅子 理事

第5号議案:「防災塾・だるま」第16期役員(案)・・・担当 高松清美 副塾長

6. 閉会挨拶・・・担当 荏本孝久 名誉塾長

## 【第1号議案】 防災塾・だるま2023年度活動報告

2023年5月26日(金)開催の第15回総会で承認された2023年度「活動計画」に基づいて活動を展開した。

9月1日関東大震災100周年を念頭に置いた活動、及び9月17日、18日に開催された防災推進国民大会(ぼうさいこくたい2023)に向けた取組みに重点を置き、大きな成果があった。

### 1 本会主催事業

#### (1) 「防災まちづくり談義の会」

- ・サロンを柱とした「防災まちづくり談義の会」開催を計画的に実施した。
- ・サロンの柱は大切にしながらも、講師の選択等は自由度を広げて開催した。
- ・充実した記録をもとに4つの観点からの考察を深めることができた。
- ・関東大震災から100年に関係する基調講演や関内地区巡検を行い、成果があった。

#### (2) 定例会

- ・会員間の意見交換を大切にしたいとの方針で開催した
- ・会員の実践報告や新会員の自己紹介などは会の活性化につながるので、重視したい。

#### (3) サロン活動

- ・2020年度よりサロン活動を継続。本会として活動を構成し、提言していくための柱を構築することができた。
- ・短時間の発表や新しい取組みの紹介などで、充実した交流の機会となった。

### 2 他団体・機関との連携支援事業

#### (1) 城西大学での「J-DAG 訓練」支援活動 7月14日

だるま参加者：片山、樋口、高松、田中喜、吉開、田中晃

- ・2019年度から城西大学飯塚智規先生の依頼を受け、大学での授業支援を行った。

#### (2) 神奈川大学エクステンション講座

担当：高松 山田 樋口 鷺山 受講申し込み者：16名

- ・今回は、関東大震災100周年に対応して、講演会と関内地区巡検を行った。

#### (3) 防災ギャザリングへの参加と連携 10月29日 だるま参加者：田中喜世美 高松

- ・本年度はぼうさいこくたいの中でギャザリングが行われたため、本会としては参加できなかった。
- ・運営委員には、本会としての組織的な参画が必要と考える。

(4) ぼうさいこくたい2023への参加

- ・本会としては独自のオリジナルセッションを企画して申し込んだ。
- ・結果的に9団体との連携によるオリジナルセッション神奈川0s-7を展開し、大きな成果があった。
- ・0s-7公式HP bosai-kanagawa.com を確立した。今後の運用の可能性と課題がある。

### 3 情報共有・広報・新会員拡大への取組

(1) ホームページ 担当：樋口 増田

- ・会員との情報共有・発信のために内容や表示方法を工夫して推進した。
- ・最新の「防災塾・だるま活動をトップページに表示し、だれでも見やすいようにした。
- ・本会活動と、紹介したい防災情報をエリア分けした。

(2) 新デザインリーフレットの作成とHP公開 担当：田中喜世美 鷺山

- ・本会のこれまでの取組や新しい理念がわかるように、リーフレットデザインを再構築し、HPにも公開した。
- ・入会フォームの掲載 ・HPへの掲載

(3) Zoom 併用ハイブリッド形式の活用

- ・2020年度から、新型コロナウイルス感染拡大予防に対応した会運営としてZoomを活用したハイブリッド型を活用した。

(4) 入会・連絡フォームの開設 担当：樋口 鷺山

- ・これまで、会員登録の方法が困難であったり、本会への連絡にあたり、個人メールを表示していたりすることなどが課題であったが、「入会・連絡フォーム」を開設したことで課題解決ができた。
- ・入会者があると、自動返信フォームが入会者に返信されるとともに、そのコピーが副塾長と会計担当に配信される。
- ・新フォームによる入会は11月開設以降すでに5名あり、本会活性化が期待される。
- ・このフォームの確立により、現会員の会員情報の再構築を推進したい。

(5) 「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」への参加協力

担当：荻本、山田、高松、河原、鷺山、

- ・同組織は、荻本名誉塾長を代表として県内の連携を推進している。2023年にぼうさいこくたいが神奈川県で実施されることが決定され、最善の体制で臨むための協議が重ねられた。本会としても、同組織に参画して、意見交換、提言を行った。
- ・これらの協議と、本会会員の各所属組織との意見交換と連携づくりが行われたことと、サロンの柱に基づき、本会からの「オリジナルセッション」構想提案に到達した。

(6) 荻本先生退任記念誌資料集（談議の会等アーカイブ）の作成とHP公開

担当： 田中喜世美 樋口 山田

- ・荏本先生退任記念誌の資料として、15周年記念誌に連続する「防災まちづくり談義の会」の記録を一覧にまとめHPに公開することができた。
- ・計画に従い、印刷でき、多方面に配付することができた。
- ・新会員へ配付を。

(7) 「防災塾・だるま」カレンダーの配布 担当：田中喜世美 鷲山

- ・毎年工夫したデザインの「防災塾・だるま」カレンダーを継続して作成、配布している。
- ・今年も本会活動がわかり、デザイン的に親しみやすいカレンダーを作成配布することができ、連携構築の媒体となっている。

#### 4 2023年度年間活動実績

※会場：関内（＝横浜市青少年育成センター：関内ホール地下）桜木町（＝さくらリビング：桜木町びおシティ6階）

月	日時	会場	活動内容	連携共済事業等	担当	会議等出席者	講演等受講者
5月	26日 (金)	桜木町一研	通常総会 191回談義の会 相原延光氏 「関東大震災から百年」		理事会	34名	23名
6月	16日 (金)	関内二研	役員会		Cサロン	12名	
7月	21日 (金)	関内二研 和室	192回談義の会 松島宗氏 「地域の備えは自助と共助の見守り合いで！」 定例会 防災サロン 長本吏央氏 「2019年台風19号による被害対策とその後の経過」		Cサロン	32名	32名
8月	25日 (金)	関内二研	役員会		Bサロン	10名	
9月	17日 ～18日	横浜国大	ぼうさいこくたい出展 オリジナルセッション神奈川 Os-7 5つのセッション 27テーマ 展示等 31団体、参加者延 3100名	主催：内閣府 連携9団体 その他 ぼうさいこくたい Os-7 神奈川実行委員会	理事会	46名 (会員参加者)	3100名 (来場者延)
10月	20日	関内二研	193回談義の会 相原延光氏		Bサロン	16名	12名

	(金)		「複合災害としての関東大震災の横浜」 定例会、防災サロン		ン		
11月	17日 (金)	関内二研	役員会 防災サロン 早川雅子・樋口誠・荏本孝久・鷺山龍太郎各氏		Aサロン	10名	
	18日 (土)	KUみなと みらい	エクステンション講座 「関東大震災」	神奈川大 学	Aサロン		17名
	25日 (土)	横浜公園	第1回 座学 第2回 まち歩き				
12月	22日 (金)	桜木町一研	194回談義の会 後藤浩志氏、伊藤郁夫氏 「よこはま防災力向上マンション認定制度について」 定例会防災サロン 忘年会		Bサロン	25名	25名
1月	19日 (金)		役員会		Dサロン	10名	
2月	3日 (土)	横浜市健康福祉センター8B	195回談義の会 池田恵子氏 「災害時の女性と子どもの安全」 定例会 防災サロン		Dサロン	19名	22名
3月	22日 (金)		役員会		Bサロン	9名	
4月	26日 (金)	神奈川県民サポートセンター	定例会13:30 196回談義の会 「能登半島地震現地からの報告会」 荏本孝久氏、伊藤郁夫氏、中村圭介氏、加藤愛梨氏、高松清美氏		役員会	32名	32名
5月	24日 (金)		通常総会		役員会		

## 第2号議案

## 令和5年度「防災塾・だるま」決算報告書 令和6年3月31日

単位 円

収入の部	金額		支出の部	金額	
	5年度予算	5年度決算		5年度予算	5年度決算
前年度繰越金	190,364	190,364	主催事業	50,000	36,600
会費収入合計	87,000	67,000	定例・談義の会	40,000	33,000
2021年度会費	0	0	被災地から学ぶ・支援	5,000	0
2022年度会費	17,000	7,000	サロン	0	
2023年度会費	70,000	44,000	その他主催事業	5,000	3,600
2024年度会費	0	15,000	連携支援事業	80,000	121,981
2025年度会費		1,000	防災ギャザリング	10,000	10,000
賛助会	0	0	エクステンション講座	0	40,000
			ぼうさいこくたい	30,000	46,981
			城西大学	30,000	25,000
			その他	10,000	0
協力事業	30,000	73,600	返還金		20,000
城西大学	30,000	30,000	事務費	108,500	120,922
神大エクステンション	0	40,000	オンライン会議費用	5,000	5,000
まち歩き		3,600	広報活動費(チラシ)	10,000	11,490
			カレンダー制作	15,000	5,365
			ホームページ作成費用	6,000	5,238
			会議費(活動支援費)	30,000	36,300
寄付金	0	0	文房具他事務経費	30,000	30,700
			郵送費	5,000	2,170
資料代	10,000	15,700			
			印刷費	5,000	23,909
			雑費	2,500	750
郵送分収入	1,000	0			
利息	2	1	予備費	79,866	
			次年度繰越		47,162
合計	318,366	346,665	合計	318,366	346,665

関係帳票及び 預金通帳等確認 したところ上記の通り収支は正確に  
 執行されていることを認めました。

2024年 5月 8日

高橋 徳美 押印済

## 【第3号議案】2024年度「防災塾・だるま」活動計画

### 1 本会主催事業

#### (1) 「防災まちづくり談義の会」 (継続)

・これまで構築した4つの柱をもとにするが、会員の興味関心や要望を生かして年間計画を工夫していく。

#### (2) 定例会 (継続)

2022年度の反省で、会員間の意見交換や親睦の場として大切にする。

- ・原則として、隔月で年間6回実施する。(通常総会を含める)
- ・会員の実践報告や新会員の自己紹介などは会の活性化につながるなので、重視したい。

#### (3) サロン活動 (柱を維持再構築し、継続)

2021年度よりサロン活動を継続してきた成果と観点は維持するが、分科会形式は解消。

- ・今後、サロンで構築した柱「自助・共助・公助連携・時事防災課題」は維持・発展させて、活動の方針・提言の根拠としていくが、全体で語り合う活動を大切にする。
- ・談義の会の後の時間を活用して、談義の会感想や、新会員紹介や活動紹介など交流を深めたい。

### 2 他団体・機関との連携事業

#### (1) 城西大学飯塚智規先生とのJ-DAG支援活動 (依頼があれば継続)

2019年度から継続し、城西大学飯塚智規先生の依頼があれば、大学での授業支援を行う。

#### (2) 神奈川大学エクステンション講座 (継続)

能登半島地震も踏まえ、新時代に対応した公開講座を企画する。

#### (3) 防災ギャザリングへの参加と連携 (継続) 10月12日(土)横浜市民防災センター

- ・防災ギャザリングに参画し、本会としての発信の方法を考える。
- ・6月にギャザリング講演会開催。

#### (4) ぼうさいこくたい2023 in 神奈川0s-7で構築できた連携の継続発展

- ・ぼうさいこくたいで構築できた連携を継続発展できる方法を試行する。

### 3 情報共有・広報・新会員拡大への取組

#### (1) ホームページ (継続)

- ・会員との情報共有・発信のために内容や表示方法を工夫して推進する。

#### (2) 新デザインリーフレットの作成とHP公開 (継続)

- ・本会のこれまでの取組や理念がわかるように、リーフレットをHPにも公開。

#### (3) SNSの活用 イベント情報共有サービスPeatix等の活用を試みる。

- (4) グーグルフォーム・自動返信システムの活用 (継続)  
 ・グーグルフォームの自動返信システムにより、会員以外の談義の会参加希望者に Zoom アドレスを自動返信することによる効率化を進める。
- (5) 入会・連絡フォームの開設と会員情報の再構築 (再構築)
- (6) 「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」と連携する。(継続)
- (7) 「防災塾・だるま」カレンダーの配布 (継続)

#### 4 2024年度年間活動予定

月	日時	活動内容	◎連携・共済事業
5月	24日 (金) 横浜県サポ1研	第16回通常総会 基調講演会 (197回談義の会) 「山国誕生の謎—東西圧縮の原因」 理学博士 高橋雅紀氏	
6月	21日 (金) 横浜県サポ2研	役員会	
7月	19日 (金)	第198回談義の会 定例会① 能登半島地震を踏まえた地盤と耐震化 神奈川大学名誉教授 荏本孝久氏 一級建築士 河原典子氏	◎ 月 日 (木) 城西大学 J-DAG
8月	23日 (金)	役員会	
9月	20日 (金)	第199回談義の会 定例会② 「福祉としての防災を考える」 防災サロン	
10月	18日 (金)	役員会	◎神奈川大学エクステンション講座 関東平野の形成と関東大震災
11月	15日 (金)	第200回談義の会 定例会③ (例) 会員活動発表会	◎カレンダー配布



12月	20日 (金)	防災サロンアラカルト 忘年会	
1月	17日 (金)	役員会	
2月	21日 (金)	第201回談義の会 防災活動の工夫 定例会④ 防災サロン	
3月	21日 (金)	役員会	
4月	18日 (金)	第202回談義の会 定例会⑤ 横浜市地震防災戦略	
5月	16日 (金)	通常総会	

★被災地訪問等は適宜実施

【第4号議案】 2024年度収支予算について

第4号議案

令和6年度年度「防災塾・だるま」予算(案)

単位 円

収入の部	金額		支出の部	金額	
	5年度決算	6年度予算		5年度決算	6年度予算
前年度繰越金	190,364	47,162	主催事業	36,600	60,000
会費収入合計	67,000	105,000	定例・談義の会	33,000	50,000
2022年度会費	7,000	0	被災地から学ぶ・支援	0	5,000
2023年度会費	44,000	0			
2024年会費	15,000	50,000	その他主催事業	3,600	5,000
2025年会費	1,000	15,000	連携支援事業	121,981	70,000
2025以降会費	0		防災ギャザリング	10,000	10,000
賛助会員会費	0	40,000	エクステンション講座	40,000	30,000
			ぼうさいこくたい	46,981	0
			城西大学	25,000	25,000
協力事業	73,600	60,000	その他	0	5,000
人と智	0	0			
その他	0		返還金(人と智)	20,000	0
城西大学	30,000	30,000			
神大エクステンション	40,000	30,000			
J-DAG					
街歩き	3,600		事務費	120,922	90,000
寄付金	0		広報活動費(チラシ)	11,490	5,000
			カレンダー制作費	5,365	6,000
資料代	15,700	10,000	ホームページ作成費用	5,238	6,000
			会議費(活動支援費)	36,300	30,000
			文房具他事務経費	30,700	25,000
			郵送費	2,170	2,000
			オンライン会議費	5,000	5,000
			印刷費	23,909	10,000
			雑費	750	1,000
利息	1	1			
			予備費	0	2,163
			次年度繰越金	47,162	
合計	346,665	222,163	合計	346,665	222,163

【第6号議案】2024年度役員について（本年度は規約上、2年毎の改選の年に当たらない。）

「防災塾・だるま」第14期役員名簿

任期：2023年総会～2025年総会

役員名簿改定(案)

役職		氏名	退任役員	
役員	理事	塾長(代表理事)<1名>	鷲山龍太郎 (留任)	
		副塾長 <5名以内>	山田美智子 (留任)	
			高松 清美 (留任)	
			樋口 誠 (留任)	
			早川 雅子 (留任)	
		会計 <2名以内>	早川 雅子 (留任)	
田中喜世美 (留任)				
総務 <2名以内>	早川 雅子 (兼任)			
	田中喜世美 (兼任)			
役員	理事	田中 晃 (留任)		
		増田 佳恵 (留任)		
		江上 健 (留任)		
		相原 延光 (留任)		
		原田 剛 (留任)		
		松島 宗 (留任)		
		伊藤郁夫 (新任)		
		土' 谷美智代 (新任)		
		中根圭介 (新任)		
		加藤愛梨 (新任)		
藤崎 修一郎 (新任)				
監査 <2名以内>	高橋 徳美 (留任)			
	江上富美子 (留任)			

名誉塾長	荏本孝久 (留任)	
顧問	荒巻照和 上原美都男 佐藤孝治 杉原英和 中川和之 山本俊雄 落合 努	岩楯敬広 (逝去)
相談役		

